

<b>環境リスク研究分野(総合)</b>
----------------------

<b>委員会からの主要意見</b>
現状についての評価・質問等
○研究ロードマップに従って研究が着実に進捗しており、政策貢献等もなされている。[年度] ○第3期中期計画の最終年度で、研究プログラム、研究分野とも特筆できる成果が現れてきているように見える。政策展開への道筋や政策検証を内包した研究構成や研究展開を期待する。[事後]
今後への期待など
○化学物質リスクに対する社会における管理の在り方については、一層関心もたれる課題であると判断される。今後、わかり易く社会に実装可能(理解し受け入れてもらえる)な成果を一層期待したい。[年度] ○環境リスクは対象が非常に広いが、個々を対象とした結果がどのように集団リスクへとつながっていくのかをもう少し深めてほしい。[事後]

<b>主要意見に対する国環研の考え方</b>
① 第3期中期計画に基づき研究を進めてまいりましたが、現在までの研究成果に基づき、第4期においては更に積極的な研究展開、政策展開をともに進めるよう努力いたします。 ②化学物質あるいはより広く環境リスクへの社会における管理のあり方はご指摘の通り今後重要な課題と考えます。第4期においても新たな研究展開を進めるよう検討いたします。 ③環境リスクを考察するには、個人・個体のレベルから集団、生態系のレベルまでの特性の違い、さらに社会的な課題認識の特性までを総合的にとらえる必要があると考えます。ご指摘を踏まえ、第4期での研究構想を考えたいと思います。